



# 霞 城 コ ン パ ス

進路情報 第3号 令和5年5月26日発行



## ◆前期中間考査が近づきました！ 5月31日(水)・6月1日(木)・2日(金)

今年度の最初の定期テストが始まります。卒業年次生、特に就職希望者はこのテストの仮評定が今年度の評定となり、就職推薦会議で用いられます。1回目の応募の際の調査書に記載されるのもここまでの評定です。

成績の良し悪しはその人の評価を決定づけるものではありませんが、**進学や就職の条件や進学・就職の可否を左右する材料にもなります。また、高い評定は一つの武器にもなります。**

成績はテストの点数だけで決まるものではありません。提出物の内容や提出状況、授業態度、出欠状況も含めての総合評価です。後で後悔しないように、「計画的に」しっかり取り組みましょう。



## ◆第1回進路ガイダンスが行われました！

5月23日(火)全校一斉の第1回進路ガイダンスが行われました。1年次は、全体で「進路講話」、2~4年次は、「就職と進学分科会」を実施しました。

**進学分科会**では、2年次から4年次の進学希望者が、一人2校から説明を受けました。同じ分野でも大学と専門学校の違い、各学科で学ぶことができる詳しい内容や学費のことなど、これからの志望校選びの情報を得ることができたのではないのでしょうか。

◇進学分科会の感想を紹介します。

- ・やっぱりオープンキャンパスに行くのは大切だなと思った。推薦も種類があるので自分が行きたい大学のことをよく調べようと思った。
- ・学費や学んだ内容をどう生かすことができるか等、ためになる話を多く聞くことができた。
- ・自分が将来やりたいことを意識して、どんなことをする必要があるのかについて、しっかり考えて後悔しないようにしたい。
- ・複数の学校のオープンキャンパスに行った方が良いことを知ることができた。早いうちからの準備や行動が大切だとわかった。

**就職分科会**では、2年次から4年次の就職希望者が、一人3社から説明を受けました。企業の説明に加えて、各企業が大切にしていること、就職して仕事をするうえで大事にすべきことなど、就職を考えている皆さんにとって、大変有意義な時間になったと思います。

◇就職分科会の感想を紹介します。

- ・進路選びに役立つアドバイスがもらえた。固定観念にとらわれない、心身の健康が一番大切と教えてもらった。
- ・接客やサービスをするにあたっては、どのような接客サービスをしたいのかを考えてみるとよいとおっしゃっていただき、自分の気持ちを見つめ直すために考えてみようと思った。

**1年次の進路講話**は、キャリアプロデュースの桑名暢先生から講演いただきました。桑名先生がこれまでかかわった生徒の例を挙げて、具体的にアドバイスを話していただきました。「人を認められる人になろう。自分を認められる人になろう。」など、これから進路を考える上で大切にすべきことをかみ砕いて、熱く話していただきました。1年次の皆さんも、話をしっかり聞いて自分のために吸収しようという姿勢が感じられ、充実した時間になったのではないのでしょうか。感じたこと、気づいたことを少しずつ実践して欲しいと思います。

